

樂茶会 平成二八年初稽古 会記

濃茶席

床 霞とりほゝに花差し鶯の

こえやおさと春のたつ国 玄々斎

香合 文趾大獅子写し 永樂保全造

香 蔵春 鳩居堂

花入れ 花簞掛花入 銘・美の虫 玄々斎箱書き花押

釜 梅紋 京釜 時代

炉縁 木地 置が新しいので入らない場合花筏時給八代宗哲使用します 時代

水指 高麗?會寧水指 三つ耳 時代

茶入 耳付肩付 高取窯 韓国窯

茶杓 銘 祝 玄々斎旧名 虚白斎

茶碗 黒染 名 玉造 一燈判あり 玄々斎箱書き

替 織部俵形 明治元年信貴山窯

建水 富久呂形 八代浄益造

蓋置 竹 とむ人もいやしき人も今の世は・・・文字在り

茶 銘 恭仁昔 自然栽培茶 山徳製茶園

菓子 花びら餅

薄茶席のみ

薄器

菊桐蒔絵大棗

七代駒沢利斎

隠居名春斎

蓑盆

真塗手付煙草盆鯨手玄々斎箱書在

八代宗哲

煙草入

椰子

玄々斎花押

又妙斎箱書

火入

おらんだ

不明

煙管

玄々斎好み似

木村清五郎造

薄茶

銘 恭仁 自然栽培茶

山徳製茶園

菓子

花びら餅